

## 研究発表プログラム(A会場)

	座長 日高俊一郎(都農中学校校長)	頁
A-1	理科授業において教育実習生と熟達教員が発する問いの違い —小学校第4学年「電気のはたらき」を事例として— ○森萬里穂(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科), 松原憲治(国立教育政策研究所)	8
9:50~10:05		
A-2	中学校理科第一分野における実社会・実生活の内容に関する一考察 ○黒岩千恵(宮崎大学大学院教育学研究科), 野添生(宮崎大学教育学部), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	12
10:05~10:20		
A-3	清酒醸造をテーマとした教材開発 —ラボスケールにおける製麴法の構築と酵素活性測定— ○井菜々子(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科), 佐藤由可衣(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科), 二宮純子(大分工業高等専門学校一般科), 森田洋(北九州市立大学国際環境工学部)	16
10:20~10:35		
A-4	タブレットを用いたムービーづくりを取り入れた「身近な自然の観察」 —ワークショップ“九大秋さんぽ de オリジナル Movie をつくろう”からの考察— ○坂倉真衣(宮崎国際大学), 笠原広一(東京学芸大学)	18
10:35~10:50		
10:50~11:00	休憩	
	座長 安影亜紀(宮崎県教育センター)	
A-5	日本人学校における理科授業の「並行履修」について —「並行履修」の有効性について— 森田学(佐世保市立清水中学校)	20
11:00~11:15		
A-6	「文化継承・活用モデル」の成果を更に確かなものにするための一考察 —授業づくりのための具体的な技法と理論の共有を通して— ○石田靖弘(中村学園大学), 今林義勝(福岡市立照葉小学校), 帆足洋之(福岡市立名島小学校), 石井健作(筑紫野市立原田小学校)	22
11:15~11:30		
A-7	文化継承・活用モデルによる授業の効果的な指導法 —小学校第5学年「電磁石の性質」での実践— ○藤本博幸(福岡市立原西小学校), 石井健作(筑紫野市立原田小学校), 石田靖弘(中村学園大学)	26
11:30~11:45		

A-8	「サイエンス・ネイティブ」の育成を目指して —幼稚園での実践例—	28
11:45～12:00	○隈部敦子((元)福岡教育大学附属幼稚園), 隅田学(愛媛大学), 進藤公夫((元)福岡教育大学)	
12:00～13:30	昼休憩／九州支部評議員会(A会場)	
13:30～14:00	日本理科教育学会九州支部総会(A会場)	
14:00～14:10	休憩	
	座長 三次徳二(大分大学)	
A-9	概念生態系のアイデアを基礎とした理科授業の実践 —小学校第5学年	32
14:10～14:25	「もののとけ方」の単元を事例として— ○織田一輝(福岡教育大学大学院教育学研究科), 甲斐初美(福岡教育大学), 森藤義孝(福岡教育大学)	
A-10	中学校理科における学習意欲と思考の関係性についての研究 —学習内容	36
14:25～14:40	に対するアンケート調査から科学的な探究過程の分析をする— ○峰松由季(大分大学大学院教育学研究科), 三次徳二(大分大学教育学部), 曾根崎浩司(大分市立明野中学校)	
A-11	小学校教員免許取得希望者の溶解度曲線から見た表・グラフ作成能力 —	40
14:40～14:55	大学生はどの程度の素養を持っているのか?— 吉田安規良(琉球大学大学院教育学研究科)	
A-12	中等教育教員養成における教科教育科目・教育実習科目の授業改善 —	44
14:55～15:10	理科におけるディープアクティブ・ラーニングの成立を目指して— ○甲斐初美(福岡教育大学), 坂本憲明(福岡教育大学), 森藤義孝(福岡教育大学)	
15:10～15:20	休憩	
	座長 吉田安規良(琉球大学)	
A-13	鹿児島県公立小・中学校における理科の地学領域指導の現状	46
15:20～15:35	○迫口友里(鹿児島大学大学院教育学研究科), 土田理(鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系)	
A-14	自然科学系学会が行う高校生向けジュニアセッションの実態調査 —ジュニア	50
15:35～15:50	セッションの教育的効果の解明に向けて— 三次徳二(大分大学教育学部)	

A-15	旧ソ連邦の中等理科教育における教科間結合に関する研究 —1920 年代から 1970 年代初めにおける教科間結合の目的と機能— 山路裕昭(長崎大学教育学部)	52
A-16	鍵教材「水」を視点とした小学校理科カリキュラムの分析 渡邊重義(熊本大学教育学部)	56
A-17	「雲の発生過程」の理解に関する調査研究 —中学生に対する質問紙調査結果について— ○坂本憲明(福岡教育大学), 宇都宮敬了(福岡県豊前市立千束小学校)	60

## 研究発表プログラム(B会場)

	座長 濱田栄作(琉球大学)	頁
B-1	NHK 教育 TV 番組「カガクノミカタ」から見る批判的思考の一考察	62
9:50~10:05	○日高愛(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	
B-2	単純電気回路における小学生の概念変化 —上位学年での関連単元の学習に注目して—	66
10:05~10:20	○松下仁(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	
B-3	合成洗剤に対する発光細菌の感受性試験	70
10:20~10:35	○吉野佑弥(大分工業高等専門学校), 杉原勇也(大分工業高等専門学校), 二宮純子(大分工業高等専門学校), 森田洋(北九州市立大学国際環境工学部)	
B-4	酸化被膜を用いた光の干渉の教材化	72
10:35~10:50	○多賀大貴(大分工業高等専門学校), 岡田大志(大分工業高等専門学校), 二宮純子(大分工業高等専門学校一般科), 上野崇寿(大分工業高等専門学校電気電子工学科)	
10:50~11:00	休憩	
	座長 土田理(鹿児島大学)	
B-5	簡易型デジタルカメラ分光装置の開発とその活用について	74
11:00~11:15	○濱田栄作(琉球大学教育学部), 喜屋武綾菜(琉球大学教育学部)	
B-6	身近な素材を用いた圧力の教授法の試み	78
11:15~11:30	○巨海玄道(久留米工業大学基幹教育センター), 野田常雄(久留米工業大学教育創造工学科), 中村文彦(久留米工業大学教育創造工学科)	
B-7	とっても楽しかった太陽電池と乾電池 —問題解決に目的意識を—	82
11:30~11:45	高野登久(近代電気学史研究所)	
B-8	熊本県天草市に位置する佐伊津層の教材化と授業実践	86
11:45~12:00	○津留ありさ(熊本大学大学院教育学研究科), 高嶋栞織(福岡市立野芥小学校), 田中均(熊本大学教育学部)	

12:00～13:30 昼休憩／九州支部評議員会(A会場)  
13:30～14:00 日本理科教育学会九州支部総会(A会場)  
14:00～14:10 休憩

座長 渡邊重義(熊本大学)

- B-9 次期改訂理科教科書の生命・生物観察・実験の再現性と科学性に資する 90  
14:10～14:25 根拠データベースの構築 ～問題の所在及び観察・実験の実施困難度測  
定の予備調査～  
西野秀昭(福岡教育大学)
- B-10 沖縄島に生息する埋在性二枚貝の教材化に向けた基礎的研究 —イソハ 94  
14:25～14:40 マグリとヒメアサリの生息分布状況を通して—  
友利義明(名護市立東江小学校), ○杉尾幸司(琉球大学大学院教育学研  
究科)
- B-11 ESDの基礎となる生態系への理解の促進 —校内飼育・栽培活動と校外研 98  
14:40～14:55 修を基に—  
下山田隆(佐賀市立成章中学校)
- B-12 論理的思考力をはぐくむ理科授業をデザインする 100  
14:55～15:10 原口淳一(山鹿市立中富小学校)

15:10～15:20 休憩

座長 甲斐初美(福岡教育大学)

- B-13 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(I) —構造方程式モ 102  
15:20～15:35 デリングによる因果モデルの構成—  
○草場実(高知大学教育学部), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然  
科学研究科), 鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡  
村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日  
田高等学校)
- B-14 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(II) —メタ認知を測 104  
15:35～15:50 定する項目の作成—  
○足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 鈴木達也(高知  
大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡村華江(高知大学大学院総合  
人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大  
学教育学部)

- B-15 15:50～16:05 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(Ⅲ) —メタ認知を調整変数とする多母集団同時分析— 106  
 ○鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大学教育学部)
- B-16 16:05～16:20 中学生の理科学習における動機づけモデルの検討 —多母集団同時分析による男女差の検討— 108  
 ○岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 蒲生啓司(高知大学教育学部), 赤松直(高知大学教育学部), 草場実(高知大学教育学部)
- B-17 16:20～16:35 大分県立日田高等学校における探究Ⅰ・Ⅱとその教育効果 112  
 ○池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大学教育学部), 川村和夫(大分県立大分舞鶴高等学校)